

見どころ案内

遅咲きの野菊 (キク科)

各地に自生するアシズリノジギク(白花)、オオシマノジギク(白花)、シマカンギク(黄花)などが見られます。

熱帯
スイレン
温室
休館中

ゴールデン チェーンツリー (キントラノオ科)

長さ30cmの穂に数百個の花が房状に垂れ下がって開花しています。当園では初開花、国内での開花例も少なく、当園で2例目です。

合掌バナナ (バショウ科)

上と下の実がくっついた状態が合掌しているように見えることから合掌(がっしょう)バナナと呼ばれます。大温室リニューアルオープンに合わせて新たに導入したもので、当園初結実です。

クログネモチ (モチノキ科)

たくさんの赤い実が付いています。濃い緑の葉と赤い実のコントラストが美しいです。雌雄異株なので、赤い実が付いている株は雌株です。

クロマツ (マツ科)

冬の風物詩である雪吊りを行っています。金沢の兼六園が有名です。本園では初めての試みです。実用というよりは観賞用です。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F(9/22~12/25)
- 特別企画展「バオバブ展」
- ◇展示温室(11/24~12/25)
- クリスマス飾るフラワー展

ヤツデ (ウコギ科)

葉が複数に裂けることから八つ手と呼ばれますが、実際は七つか九つに裂けることが多いです。白い花が咲き始めています。

ヤマコウバシ

(クスノキ科)

落葉樹ですが春先まで葉が落ちません。葉をもむと香りがあることから「山香ばし」。12月1日から合格祈願のお守りとして売店で販売しています。

コダチダリア

(キク科)

メキシコ・中南米原産の遅咲きダリア。今年は暖冬で未だ霜害を受けることなく、うす紫色の花が咲いています。

カリン (バラ科)

黄色い実をたくさんつけています。

さんばがわふゆざくら

三波川冬桜 (バラ科)

オオシマザクラとマメザクラの交配種と言われています。一重咲きで薄い桃色の花をつけています。

テーダマツ (マツ科)

北米東部原産のマツ。10cm以上になる松ぼっくりがたくさん付いています。テーダとは樹脂を含むという意味です。

